

<機械・農作業の共同化に取り組む事例>

○集落法人が中心となって地域づくりを推進

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	広島県神石郡神石高原町 <small>じんせきぐんじんせきこうげんちょう</small> 光信 <small>みつのが</small>			
協定面積 19.9ha	田 (76.4%)	畑 (23.6%)	草地	採草放牧地
	水稲	野菜	—	—
交付金額 192万円	個人配分			40%
	共同取組活動 (60%)	役員報酬		4%
		共同機械利用		24%
		鳥獣害対策		5%
		共同管理農地作業		5%
用水路・農道修繕、機械購入積立金		16%		
研修費		6%		
協定参加者	農業者 24人、(農)高原ファームみつのぶ(構成員23人)、農業生産組織 1組織、非農業者 2人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	作成していない			

2. 取組に至る経緯

当集落は、昭和 39 年パイロット事業(10ha)、昭和 52～53 年に団体営圃場整備(13ha)で水田全面積の整備を完了。平成初期、民間のリゾート施設と平行して水田の再整備を行った地域。営農体制の強化として、昭和 51 年営農組合、58 年地域農業集団を設立し、稲作機械化一環体系の確立や低コスト農業にも取り組んでいる。また、若者グループ光進会を中心に地域づくりへの意欲が高く、各種団体と連携した地域づくりのため、中山間地域等直接支払制度に取り組んだ。

3. 取組の内容

交付金の配分について、1 期対策では 6 割、2 期対策では全額を共同取組活動に配分し、自治振興会と営農組合が共同で農業機械の整備や共同利用、先進地視察研修等を進め、平成 21 年に営農組合を法人化し、全戸参加型の(農)高原ファームみつのぶを設立した。

3 期対策では、共同防除や鳥獣害防止柵の設置のほか、交付金で整備した機械(営農組合所有)を法人に無償貸与して法人の経営安定に寄与。また、定期的な話し合い、情報交換の中で、農地・水保全管理支払と一体的に畦畔の草刈りなど環境美化を行い、省力化に努めてはどうかという声があり、それを実施し、芝桜の植栽を進めた。これらの活動には福山市内の異業種から CSR 活動の支援も受けた。協定の会計事務局は、農業経験のない若い人が担い、集落の将来を担う人材育成に取り組んでいる。



【定期的に地域づくりの情報交換を実施】



【CSR活動等を取り入れた芝桜植栽】

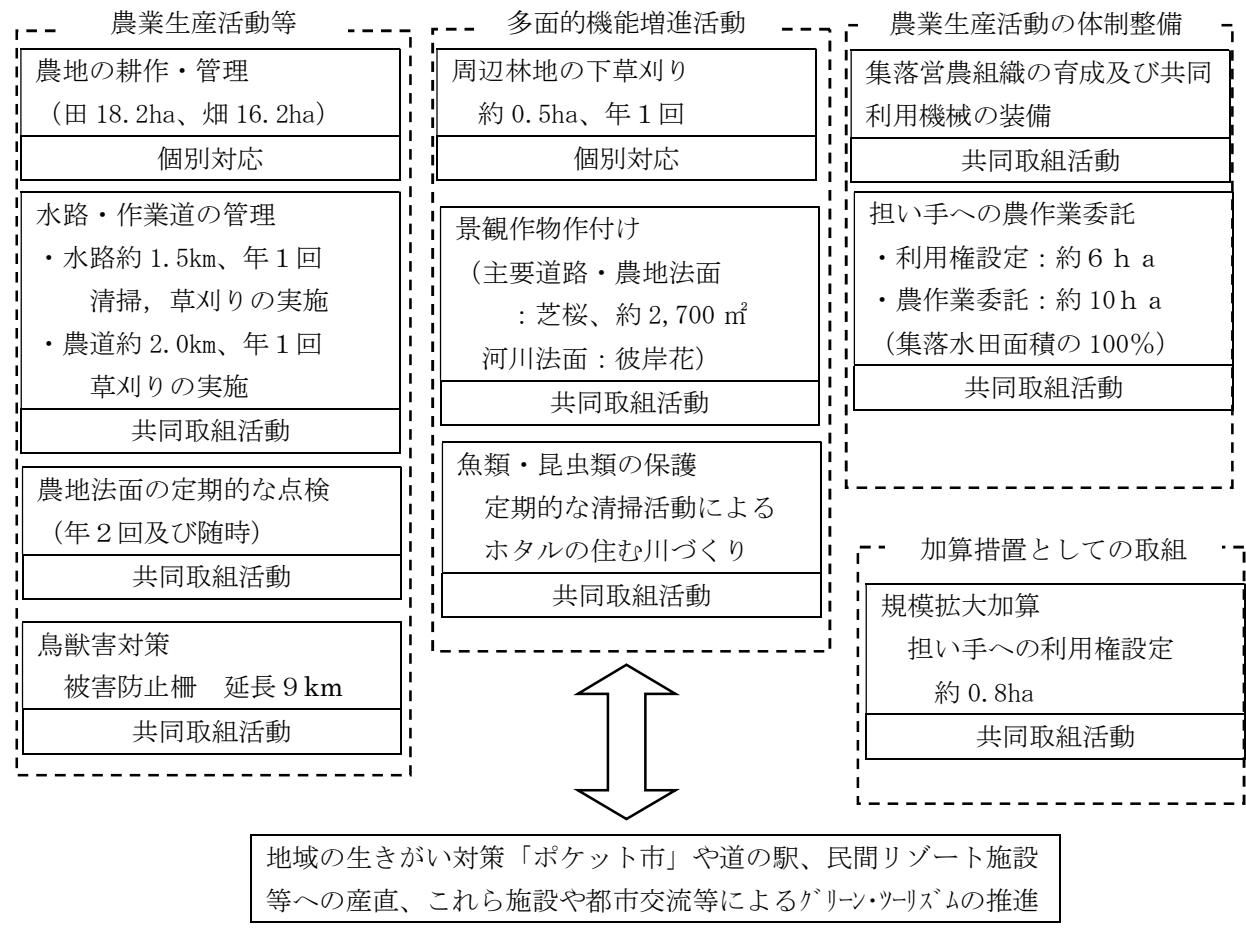
[集落の将来像]

- 子孫が残れる美しい地域環境と農業の構築。
- 法人活動の強化で集積面積の拡大と人材確保で経営の安定。



[将来像を実現するための活動目標]

- 地域一帯となった効率的な農業生産で農用地を維持管理。
- 2世帯・3世帯家族の増加で地域に活力を。
- シバザクラ・彼岸花・ホタル等による景観作りと、鳥獣害対策で農地保全。



集落外との連携

- 自治振興会等を中心に近隣集落と連携を図り、地域づくりを推進。
- CSR活動・都市交流等積極的に取り入れ、地域づくりに活用。

4. 今後の課題

集落の課題である担い手の経営力強化及び担い手確保について、(農) 高原ファームみつのぶを中心とした取組を進める。

今後、水稻や飼料稲に替わる高収益作物の導入、乾燥調製施設整備による地域生産米の販売、農地集積や作業受託等による規模拡大について、取り組みを強化したい。

[第2期対策の主な成果]

- 農業法人の設立
- 荒廃水田の解消